

第1学年 学年便り

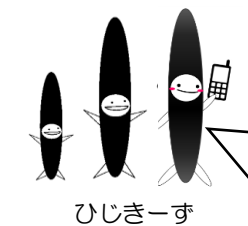
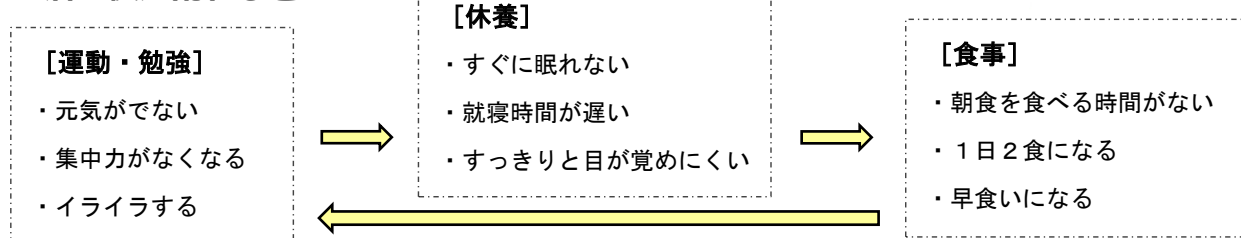
第 1 学 年
第 7 号
平成 30 年 6 月 18 日(月)

運動会が終わり、2週間後には1年生のみなさんにとって、初めての定期考査が行われます。試験に向けて計画的に勉強をするためには、生活習慣を整えることが大切です。夜更かしをしたり、朝食を食べなかったりすると、集中して授業に取り組むことができません。また、携帯電話やインターネットの使い過ぎによって、生活習慣が乱れている人もいないでしょうか。あらためて、自分の生活習慣を見直すことで、より良い学習ができるようにしましょう。

～ 生活習慣チェック ～



生活習慣が乱れると・・・



千川中学校には、携帯電話の使い方に関して、①「ひ」かえよう②「じ」かんを守ろう③「き」そく正しい生活をしよう という「ひ・じ・き」を頭文字にした標語があります。毎日の携帯電話やインターネットの使い方を見直して、生活習慣を整えましょう。

～ 運動会を振り返って ～

私は運動会で学んだことが2つあります。1つ目は、日々の努力です。私は、個人種目で1000メートルに出ました。長距離を走るのはとても苦手です。でも選手になったので、残り2週間でやることを、日々やってきました。運動会では、周回遅れでしたが、日々努力をしていたので、棄権をして点をとれなくなることが、ありませんでした。走りきったときは、開放感、達成感など、様々な感情があふれてきました。



2つ目は、団結力です。特に、男女合同での大縄の種目で感じました。最初の授業では、全員で1回跳べたら「奇跡だ」と、とても驚いたほどでした。しかし、練習を重ねるにつれて、跳ぶ回数が増えていきました。そして、最終的には30回を超えたこともありました。私は、この回数は「団結力の強さ」だと思っています。団結力が強くなったからこそ息も合い、結果30回を超えて跳ぶことができたのだと思います。このとき、とても嬉しかったことを覚えています。

このようなことから、私は運動会という大きな行事によって「日々の努力」と「団結力」の大切さに気づきました。そして、これは「皆を思いやる気持ち」があるからできたことだと考えています。

1組 **



僕が、今日初めて千川中学校での運動会をやって楽しかったことの1つは、大縄です。僕たちは最初、全然跳べませんでした。僕は回し手を担当して、自分では一生懸命回していると思っていました。そして、先生に「どうしたら跳べるようになりますか？」と聞きました。すると「もっと縄を張って」と言われました。最初は、「張っているのになんでだろう」と思いました。でも、先生に言われた通りにやっていたら、みんながたくさん跳べるようになりました。最初は、20回で止まっていたけれど、予行練習のときに、50回も跳べて嬉しかったです。そして、運動会当日、女子が20回台でなかなか跳べませんでした。でも、「男子がその分跳ぼう！」と言って、みんなで協力した結果、68回も跳べて、2組に勝つことができました。

悔しかった気持ちの1つは、学年で負けてしまったことです。1年1組で、一生懸命2組に勝とうと、朝からみんなで声を出しながら練習をしたけれど、負けてしまいました。でも、負けてしまったけど、このおかげで1つ学ぶことができました。それは、「努力は必ず報われる」ということです。大縄や全員リレーの練習だけをしていて、他の種目は練習をしていなくて、負けてしまったけれど、練習をした大縄や全員リレーはものすごく成長することができました。そして、このことを忘れないで来年は絶対に勝ちます！

1組 **



僕は、そこまでスポーツができるわけでもないため、あまり運動会は好きではなかった。小学生の頃も、運動会練習などは、ぼーっとしてただけのときもあった。けど、中学1年生になって、僕はあることに気づいた。運動会は、自分自身のためだけではなく、クラス全体やみんなのためでもあるのだと気づいた。

僕が、なぜそのようなことに気づいたかという、運動会練習で

ふざけていたとき、友人に注意をされたからだ。最初は、「なんで俺だけ…」と思っていたが、しばらく考えると、僕ができるから、それを信頼して注意してくれるのではないだろうか、と僕は思った。僕は、大縄や全員リレーのように、一人でも欠けてはいけない存在なのだと実感し、練習に励もうと努力した。その結果、全員リレーでは負けたが、大縄では69回という新記録を達成できたのだと僕は思った。

これからも人の注意は、ちゃんと受け入れ、反省することを心がけたいと思う。そして、人にも注意できる立場になりたいと思った。

1組 **



6月2日、今日いよいよ運動会が始まりました。これまで練習してきたことを生かして、本番は絶対成功させるぞと思い、みんなの顔が朝、ぼくの目に映りこんできました。そして、運動会当日、僕が一番心配していた大縄は、やはり負けてしまいました。しかも、先生に聞いてみたら、44回差で負けてしまったらしく、とても悔しかったです。そして、全員リレーでは、僕はリレーのアンカーでした。最後にみんなの思いがこもったバトンを受け取り、最後まで全力で走りきりました。そして2組は1組に勝ちました。とても嬉しくて、その達成感はいまだにないものでした。

失敗したところは、いくつかあったけれど、仲間と乗り越えることができた、とても素晴らしい運動会ができたと思いました。このような運動会で、仲間と力を合わせることによって、交流を深めることができ、これから困難があったときも、みんなでしっかりと話し合いをすれば、喧嘩が少なく、みんな仲良しのクラスになると思います。また、来年の運動会が、僕はすごく楽しみです。また、僕は委員会をやっているの、運動会の仕事にも参加できて良い体験ができたと思いました。来年もできたら委員会をやって、みんなに貢献できるようにしていきたいです。

2組 **



私は運動会が終わって学んだことがあります。それは、「負けると思ってまだ負けていない」ということです。私は正直、最初は赤組に負けると思っていました。でも、「実際はまだ負けていない」

と気づくことが大事なのだと思います。あきらめないで努力すれば、勝てるチャンスなんてたくさんあると、今は感じるができます。勝負は負けた時点で負けなのだから、負けるまではみんなで練習して、みんなで考え、それを本番で発揮してこそ勝てるのだと思います。

本番では、大縄、棒引き、全員リレー、綱引きなどの種目がありました。大縄では負けてしまいましたが、女子は40回を超え、今までの中で最高の記録を出すことができました。これも、練習してきた成果だと思います。また、棒引きではペアをつくって相手の強さを考え、作戦を立てることで、練習では負けたものの、本番では勝つことができました。全員リレーでは、練習でバトンミスがあったので、そこを中心に練習して、みんなでアドバイスを出し合い、本番ではバトンパスもうまくいきました。自分が走る前と後に、緊張していても、疲れていても、味方を大声で応援し、最後は差をつけて勝つことができました。最後、クラス対抗、色別対抗、どちらも青が勝ったと聞いたときは、すごく嬉しかったです。練習でいくらうまくいなくても、負けるときまで結果はわからないと知ることができました。これから、このようなことがあっても、負けるまであきらめず、結果をひっくり返したいです。

2組 **



僕は中学校で初めての運動会で、勝つことができて、とても嬉しかったです。圧倒的に足の速さも、運動の技術面でも1組に負けていたので、僕は最初、運動会は負けると思いました。しかし、実行委員を中心に、運動が苦手な子を、運動が得意な子が助けるなど、作戦を立てて勝つことができました。リレーでは、1組の方が足が速いにもかかわらず、うまく順番を考えて、バトンパスをしっかりとできたので勝てたと思います。

しかし、後悔していることもあります。それは、運動会練習が始まった頃から、しっかり自分のことだけでなく、みんなに声かけができていれば、大縄も勝っていたと思います。そういった意味で、**君はすごいなと思いました。毎回大きな声を出して、注意やアドバイスをされていてさすがだなと思いました。もっと早くから気づいていれば、良かったです。

また、今回の運動会で、潮干狩りの時よりもみんなとの仲が深まったと思いますし、1年2組のみんなは協力することができて、あきらめない心をもっていることがわかりました。そのため、クラス替えはあるけど、このまま3年間いろいろなことを頑張っていけば、最高最強なクラスやチームワークになると思います。次の大きな行事は文化祭なので、そのときも力を合わせて、必ず成功させたいです。そのときは、今回のことを生かして、最初からきちんと取り組み、みんなに声かけをしていきたいです。

2組 **

